

---

# 雑記録、気の向くままに

ノラネコ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雑記録、気の向くままに

### 【Nコード】

N4161BA

### 【作者名】

ノラネコ

### 【あらすじ】

思いついたことを書き留めるだけの雑記録です。

特に意味はありませんが、感想をいただけると嬉しいです。

20120110 最終更新

## 雑記1（前書き）

異世界かもしれないし未来かもしれない、そんな世界の物語のです。

## 雑記 1

「井の中の蛙、大海を知らず」この言葉を聞いたことがある人は多いだろう。

小さな世界に閉じこもり、外に大きな世界があるということを知ることなく一生を終えていく、すなわち狭い狭い知識でしか物事を考えれず、大局を見ることができない、そういう意味で使われるこの言葉だが、果たして大きな世界を知ることがいいことなのだろうか。たとえ閉じられた狭い世界であっても、そこが守られた世界で自らがこなすべき役割があるのなら、わざわざ危険が渦巻き帰ってこられるかも分らない、広い世界に出て行かないという選択もありなのではないだろうか。

それも、恐れるべき強者がいるならなおのこと、知るべきではない悪夢があるのならなおのこと。

この世界において人類という種族は、間違っても食物連鎖の頂点などではなくなっていた。

それというのも、現在の暦「閉暦」が始まる数十年前から加速度的に発生件数が増えていったとされる異変の数々、それが原因であると記録されている。

野生生物の狂暴化や巨大化に始まり、急激に増加する新種生物の報告、一部の生物のみが極端に重度の症状を発症する感染症が蔓延し、ほかにも大きな自然災害が立て続けに発生、そして後に「魔素」と命名されることになる新物質の発見・・・

細かく上げればきりが無いほどの数の異変がたった数十年の間に起こり、人類を、いや世界そのものを「文字どおり」変えてしまったのだそうだ。

最初に、対応できていたはずの人類が、終わる気配すら見せずに立て続けに起こり、その規模も大きくなり続ける異変にどんどんと消耗していく、それが最初の十年の間に起こった。

次に、国家や企業、あらゆる支配体系がその消耗からもたらされる混乱の中で崩壊していき、新たな形で再構築され「閉鎖都市体制」に落ち着いていくこととなる、そしてここで二十年。

最後に、人類が仮に「魔物」と呼ぶことにした新種生物たちに対抗するすべての研究をし、それが結果をだし「魔素」が運用できるようになる、ここで三十年。

そして人類は消耗しきった状態から、魔素技術や閉鎖都市体制によって魔物たちから生活圏を守る、という、小さな希望を作り上げ種族として生存することには成功したのである。

異変発生前の人口の八割以上と多くの資源、そしてなによりも「生態系の頂点」という立場をうしなつたのであった。

そしてそんな世界でも人はそれなりに幸せに暮らせるように適応してきた、もう200年以上も経つたのだから。

閉歴232年 閉鎖都市「カラカラ」にて

ここ、閉鎖都市カラカラは閉歴後期になってから作られた都市であり歴史は浅い。

その分、対魔物用の防壁も性能の高い新型が採用されているが、都市周辺には危険度すらわかっていない部分も多く、決して安全ではない。

事実、新設された都市の六割以上が40年以内に消滅しており、新設された都市に進んで移住する者は少ない。

しかし、悪い話ばかりではない。

当然誰も手を付けていないということは、高い地位に立てるチャンスをつかめる可能性も高いということであり、野心家たちはむしろ積極的に行こうとする。

また、運が良ければ未探索地区から「旧時代の発掘品」が見つかることもあり、それによって都市が急速に発展する可能性もあったりするので侮れない。

それはともかく、閉鎖都市カラカラでは都市建設から今年で40周年となる。

そのため都市全体がいつにもまして活気に満ち溢れていて、道行く人々の顔も都市の外には魔物という化け物がいるということを感じさせないほどに明るい。

そして祭りの日、それが予定されていた「祭り」とは違うものになることなど、この都市の住民は誰も知らなかった、そして祭りの開始時刻は近づいていく・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4161ba/>

---

雑記録、気の向くままに

2012年1月10日23時49分発行